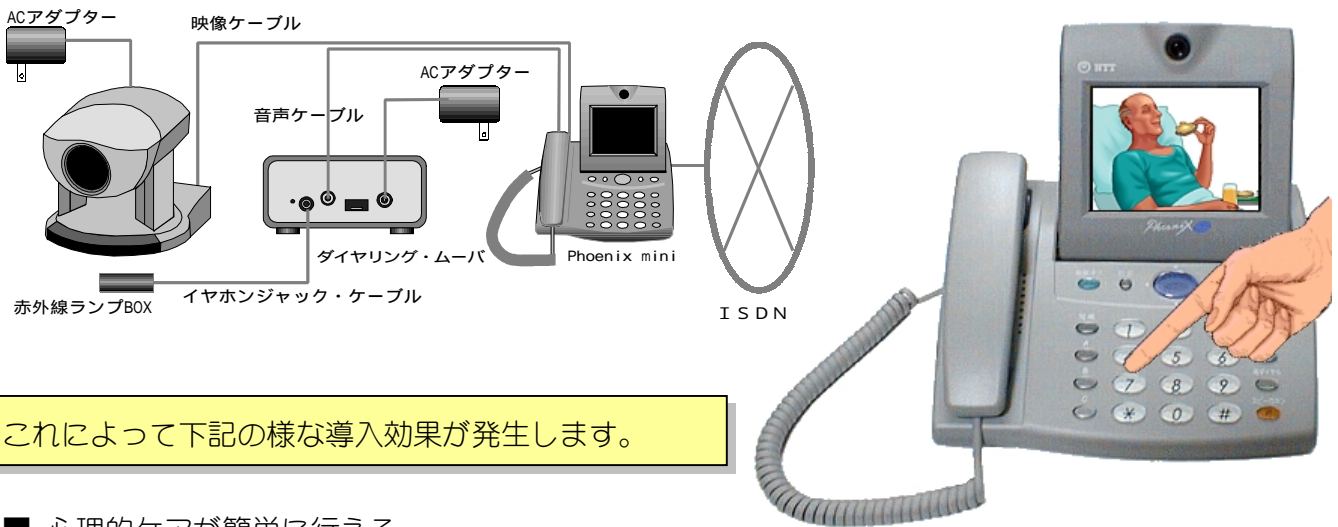


『屋内奉行』を用いた一人暮らしの老人介護装置の使用方法和効果

Phoenix mini を用いれば、一人暮らしの老人の家に毎日定期的に電話する等老人医療、特に心理的ケアに役に立ちます。このとき、老人が部屋の角でうずくまっていたり、テレビ電話の前に来られないような状態の場合は、『屋内奉行』を使って老人を探すことも可能。ダイヤルキーでカメラの操作を行う事によって、局部にズームなども可能です。



これによって下記の様な導入効果が発生します。

■ 心理的ケアが簡単に行える

訪問しての老人介護を行っている場合は、話し相手レベルであればテレビ電話ですませる事が可能です。また、突然の場合でも相手の表情を見ながら話す事ができるので、カウンセリングに近い事も可能となります。

■ テレビ電話の前に来られない場合

老人が寝ていたり、遠くにいたりした場合でも老人を探す事ができます。

■ 専門医の検診が可能

病気になった老人に対し、遠隔地にいる専門医の検診を実施する事が可能

■ トラブルの発生に早期に対応可能

突然の事故が発生した場合、老人の様子を確認できるので、対策が迅速かつ適切に行なえます。

■ 介護者の負荷の軽減

健康状態の良い老人に対しては、”今日のところはテレビ電話で済ませる”事ができるようになります。今後、老人の数に対して介護者が絶対的に不足する事は、はっきりとわかっている事ですので、介護者の負荷を軽減する事にも有効です。

遠隔地 Phoenix mini のダイヤルキーでロボットカメラの操作ができます。 (主な操作)

④ ズームアウト ⑥ ズームイン ⑤ 上 ⑦ 左 ⑨ 右 ⑩ 下

Phoenix mini は、記憶された電話番号以外は自動着信しないなど、セキュリティー機能も充実しております。